

# 第15回 兵庫便教会 報告

2016年9月25日(日)西宮市立浜甲子園中学校のトイレをお借りして第15回の兵庫便教会を開催いたしました。

初参加の1名を含め13名で行いました。簡単な自己紹介のあと、道具説明をし、男女2か所のトイレに分かれてスタートしました。ちょうど雨の体育大会が終わった後、しかも一番グラウンドに近いトイレにも関わらず、さほどの汚れはありませんでした。掃除が行き届いている証拠です。便器、壁、床とともに、換気扇や手洗い場を丁寧に掃除しました。さすがに普段の掃除では手が回らない手洗い場もピカピカに磨きました。



以下、交流会での内容です。

「before と after を見て、感じる事が大切。しかし目に見えないところにまで意識することはもっと大切である。タワシを使ったあと、見た目には汚れは見えない。しかし、水で洗えば汚れが見える。子どもも同じではないか。」

「掃除の時間ではない時にゴミを拾える子どもを育てたい。」「上に立つ人の姿が感動を生む。」「些細なことに気付ける人になりたい。そうでないと、人を傷つける危険性があるから。」「新しい出会いに感謝。」「褒められると大人でも嬉しい。良い所に目を向ける教育が求められる。」など

月に1回の便教会が参加者の日常の苦しさを開放し、本当の自分を取り戻す役割を果たしている気がします。しかし、大切なのは、日々の生活の中で継続することです。より高みにいくために、陰徳を積んでいく必要があります。

会場を提供くださった学校、道具をお借りした西宮掃除に学ぶ会に、感謝申し上げます。ありがとうございました。(木田重果)

